

2023年度第2四半期決算の概要及び 2023年度業績予想の概要

三井化学株式会社

本資料の業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した予想であり、リスクや不確実性を含んでおります。従いまして、実際の業績は今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

2023年11月8日

目次

1. 2023年度第2四半期決算の概要	
1) 主要関連市場動向	…1
2) 主な投資案件等の状況	…2
3) 決算の概要	…3-4
4) セグメント別 売上収益/コア営業利益増減（対前年同期）	…5
5) セグメント別 コア営業利益増減/事業動向（対前年同期）	…6-9
6) 非経常項目の内訳	…10
7) 財政状態計算書	…11
8) キャッシュ・フロー計算書	…12
2. 2023年度業績予想の概要	
1) 業績予想の概要	…13-15
2) セグメント別 コア営業利益増減/事業動向（対前年決算）	…16-19
3) セグメント別 コア営業利益増減（上期→下期）	…20
4) キャッシュ・フロー計算書の予想	…21
3. 補助資料	…22-30

1. 2023年度第2四半期決算の概要

1) 主要関連市場動向

関連市場		23年度			23年度予想 (対前回8/4予想)	
		上期	下期	上期→ 下期		
ライフ& ヘルスケア・ ソリューション	メガネレンズ市場	引き続き堅調に推移 (一部在庫調整の動きあり)	引き続き堅調に推移 (在庫調整解消の動き)	➡	堅調に推移も 上期在庫調整	➡
	農薬市場	引き続き堅調に推移	引き続き堅調に推移	➡	変化なし	➡
モビリティ ソリューション	自動車生産台数(世界) *			➡		➡
	日本	グローバルに回復	グローバルに回復 北米での利上げ及びストライキによる影響懸念	➡	グローバルに 生産台数は増加	➡
	北米			➡		➡
	中国			➡		➡
	ASEAN			➡		➡
欧州	➡			➡		
ICT ソリューション	半導体市場	需要減継続	引き続き需要減継続も 底打ち感あり	➡	想定より回復遅延	➡
	スマートフォン市場	需要減継続	需要減継続	➡	需要低迷により下落	➡
ベーシック& グリーン・ マテリアルズ	市況	TDI	TDIの市況は低水準	➡	変化なし	➡
		MDI	市況は安定的に推移	➡	変化なし	➡
	クラッカー稼働率	低稼働	低稼働も上期に比べ 稼働率改善	➡	想定より低稼働	➡

* 外部機関参考による当社推定値

2) 主な投資案件等の状況

主な投資案件		時期	能力	FY21	FY22	FY23	FY24以降	
ライフ & ハルスケア・ソリューション	整形外科領域 日本エム・ディ・エム資本・業務提携	22年1月	-		▶			23年度 商業運転開始等
	農業事業買収	22年1月	-		▶			23年度 意思決定案件等
	メガネレンズ加工機メーカー 買収	22年11月	-		▶			
	不織布事業JV設立@Japan	23年10月	-		▶			
	メガネレンズモノマー能力増強@Japan	23年12月	-		▶			
モビリティソリューション	タフマー®新設@Singapore	24年度	120KT				▶	
ICTソリューション	EUVペリカル新設備@Japan	21年4月	-	▶				
	アベル®新プラント@Japan	22年6月	+50%		▶			
	ペリカル事業買収	23年7月	-			▶		
	イクロステープ™能力増強@Taiwan	24年1月	380万㎡			▶		
	三井化学東ゼロの株式分割及び一部株式譲渡	24年4月	-			▶		
	ポリウレタンディスパージョン(PUD)能力増強@Japan	25年6月	+100%			▶		
ベーシック & グリーン・マテリアルズ	本州化学工業 連結子会社化	21年10月	-	▶				
	錦湖三井化学 MDI能力増強@Korea	24年7月	200KT				▶	
	高機能PP新設備@Japan	24年11月	200KT				▶	
	バイオマス原料調達拡大に向けた出資	22年6月	-		▶			
	PPG生産におけるLLP設立	23年5月	-			▶		
新事業・新製品	CVC設立	22年7月	-		▶			
最適化・再構築	高純度テレフタル酸(PTA)生産停止@Japan	23年8月	400KT			▶ 生産停止		
	フェノール子会社株式譲渡@Singapore	23年3月	-		▶ 株式譲渡			
	TDI生産能力最適化@Japan	25年7月	120KT→50KT			▶ 生産能力最適化		

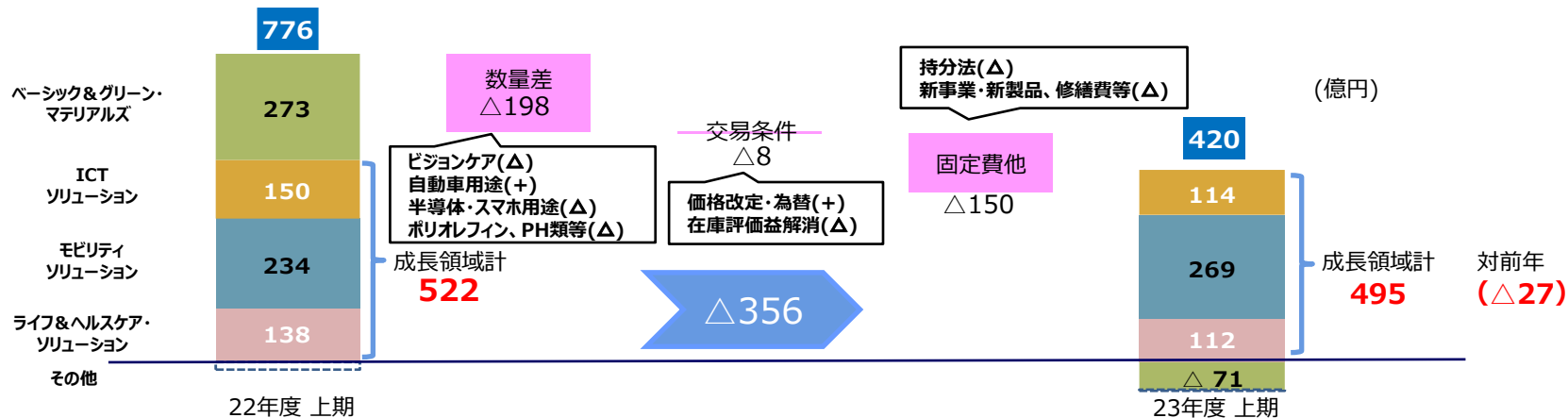
3-1) 決算の概要

(単位：億円)

摘 要	22年度 4-9月決算	23年度 4-9月決算	増減	増減率
売上収益	9,511	8,237	△ 1,274	△13%
コア営業利益	776	420	△ 356	△46%
(うち、持分法による投資損益)	142	60	△ 82	△58%
非経常項目	△ 51	△ 108	△ 57	-
営業利益	725	312	△ 413	△57%
金融収益・費用	△ 18	18	36	-
税引前四半期利益	707	330	△ 377	△53%
親会社の所有者に帰属する 四半期利益	444	207	△ 237	△53%
為替レート(円/US\$)	134	141	+ 7	
国産ナフサ(円/KL)	83,750	65,550	△ 18,200	
中間配当	60円/株	70円/株	+ 10円/株	

3-2) 決算の概要：コア営業利益（対前年同期）

項目	内容	損益増減
数量	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジョンケアは一部在庫調整の影響により販売数量は減少。 ・自動車用途関連は自動車生産台数の回復に伴い販売数量は増加。 ・半導体関連は半導体、スマートフォン市場の需要鈍化により販売数量は減少。 ・ポリオレフィン及びフェノール類を中心に需要減により販売数量は減少。 	(△) (+) (△) (△)
交易条件	<ul style="list-style-type: none"> ・価格改定及び円安影響により交易条件改善。 ・22年度上期の原料価格上昇に伴う在庫評価益の解消。 	(+) (△)
固定費他	<ul style="list-style-type: none"> ・資材費高騰による修繕費及び新事業・新製品開発等の資源投入によるコスト増加。 ・持分法投資損益の減少。 	(△) (△)







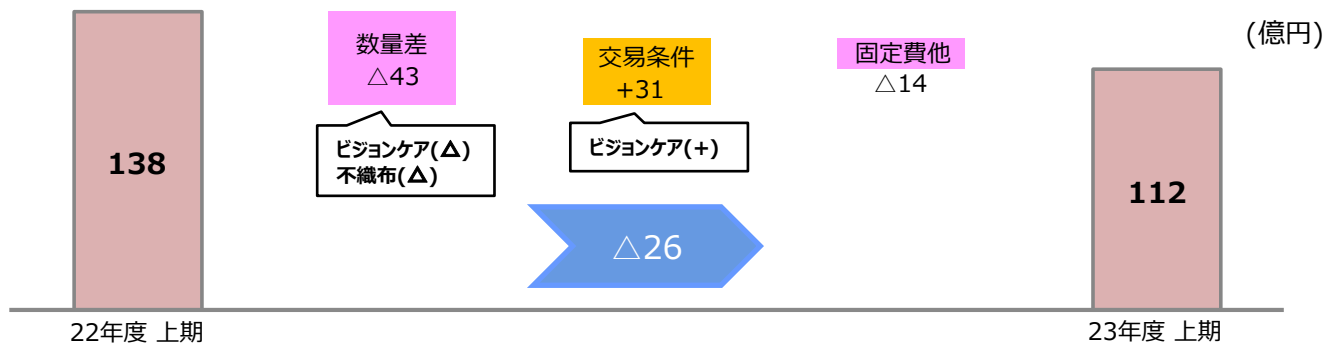
4) セグメント別 売上収益/コア営業利益増減 (対前年同期)

(単位：億円)

セグメント	売上収益			コア営業利益			増減内訳		
	22年度 4-9月決算	23年度 4-9月決算	増減	22年度 4-9月決算	23年度 4-9月決算	増減	数量差	交易条件	固定費他
ライフ&ヘルスケア・ソリューション	1,221	1,191	△ 30	138	112	△ 26	△ 43	31	△ 14
モビリティソリューション	2,554	2,613	59	234	269	35	10	68	△ 43
ICTソリューション	1,182	1,134	△ 48	150	114	△ 36	△ 54	49	△ 31
ベーシック&グリーン・マテリアルズ	4,483	3,221	△ 1,262	273	△ 71	△ 344	△ 111	△ 156	△ 77
その他	71	78	7	△ 19	△ 4	15	-	-	15
合計	9,511	8,237	△ 1,274	776	420	△ 356	△ 198	△ 8	△ 150
成長領域*	4,957	4,938	△ 19	522	495	△ 27			

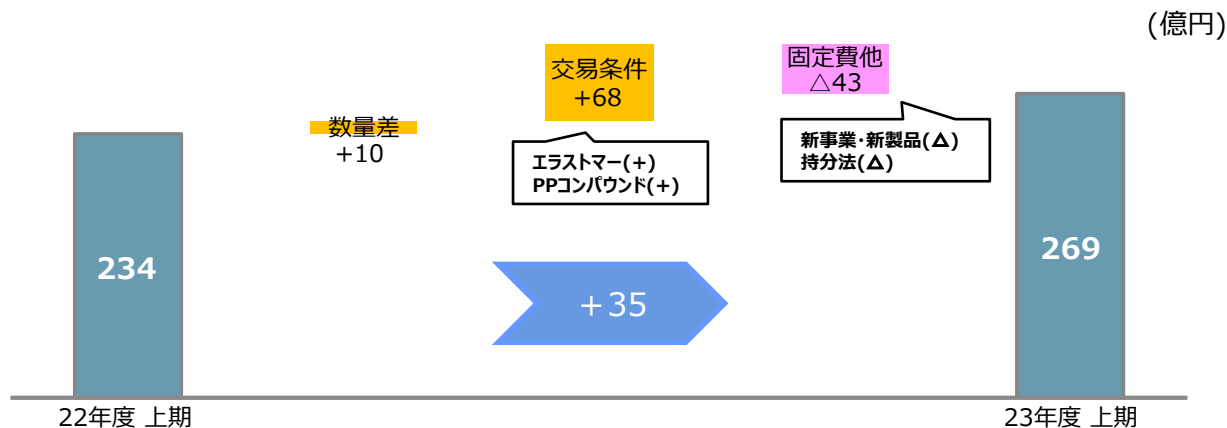
*ライフ&ヘルスケア、モビリティ、ICT

	23年度上期決算/事業動向	主要増減要因
ビジョンケア	 <ul style="list-style-type: none"> 一部在庫調整の影響により販売は減少 22年度値上げによる交易条件改善 	数量(Δ) 交易条件(+)
不織布	 <ul style="list-style-type: none"> 需要減少に伴い販売数量は減少 価格改定に伴う交易条件改善 	数量(Δ) 交易条件(+)
オーラルケア	 <ul style="list-style-type: none"> 販売は前年並みに推移 	-
農薬	 <ul style="list-style-type: none"> 販売は堅調に推移 	数量(+)

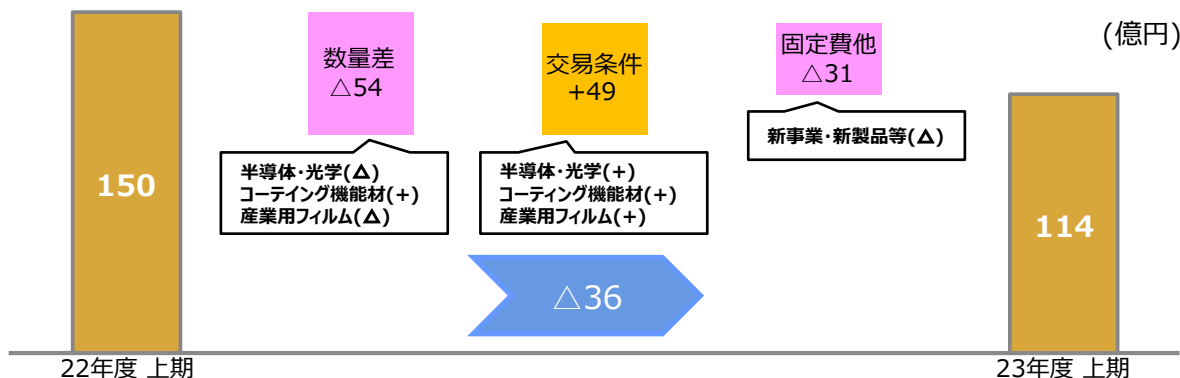


5-2) モビリティソリューション:コア営業利益増減/事業動向 (対前年同期)

	23年度上期決算/事業動向	主要増減要因
エラストマー	<ul style="list-style-type: none"> ・太陽電池封止材の販売は堅調に推移 ・価格改定及び為替差、高付加価値品へのシフトによる交易条件改善 	交易条件(+) 持分法(Δ)
複合材料 (PPコンパウンド 機能性コンパウンド)	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車用途関連は回復 ・為替差による交易条件改善 	数量(+) 交易条件(+) 固定費(Δ)
ソリューション事業	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車市場回復に伴う試作及び開発案件の受注が増加 	数量(+) 固定費(Δ)

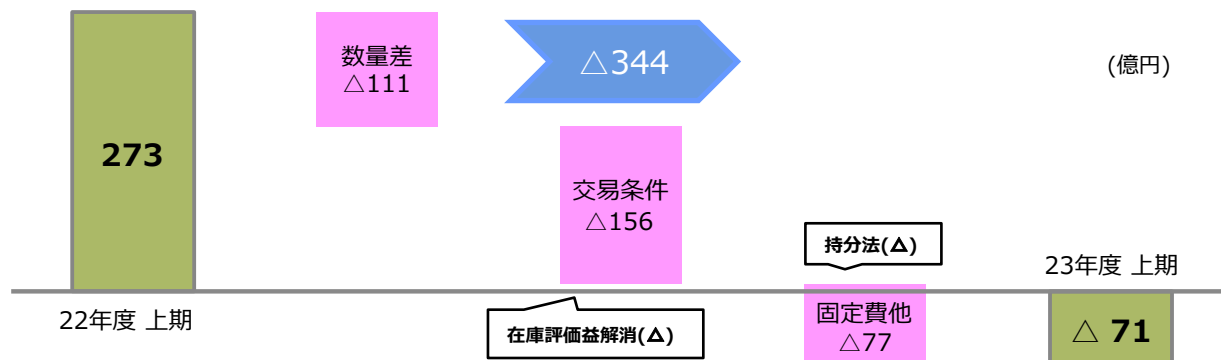


	23年度上期決算/事業動向	主要増減要因
半導体・光学	<ul style="list-style-type: none"> 半導体及びスマートフォン市場需要鈍化により販売は減少 為替差により交易条件改善 	数量(Δ) 交易条件(+) 固定費(Δ)
コーティング機能材	<ul style="list-style-type: none"> 販売は堅調に推移 原料価格下落に伴う交易条件改善 	数量(+) 交易条件(+) 固定費(Δ)
産業用フィルム	<ul style="list-style-type: none"> 半導体需要鈍化により販売は減少 為替差による交易条件改善 	数量(Δ) 交易条件(+) 固定費(Δ)



5-4) ベーシック&グリーン・マテリアルズ:コア営業利益増減/事業動向 (対前年同期)

	23年度上期決算/事業動向	主要増減要因
石化	<ul style="list-style-type: none"> ・需要減により販売は減少 ・値上げによる交易条件改善はあるも、 22年度上期の原料価格上昇に伴う在庫評価益の解消 	数量(△) 在庫(△)
基礎化	<ul style="list-style-type: none"> ・需要減により販売は減少 ・持分法投資損益の減少 	数量(△) 在庫(△) 持分法(△)
ウレタン	<ul style="list-style-type: none"> ・持分法投資損益の減少 	持分法(△)



6) 非経常項目の内訳

(単位：億円)

摘 要	22年度 4-9月決算	23年度 4-9月決算	増減
固定資産処分・売却損益	△ 15	△ 6	9
減 損 損 失	△ 38	△ 124	△ 86
そ の 他	2	22	20
非経常項目 合計	△ 51	△ 108	△ 57

7) 財政状態計算書

(単位：億円)

摘 要	23年3月末	23年9月末	増減	摘 要	23年3月末	23年9月末	増減
流動資産	(10,943)	(10,825)	(△ 118)	負債	(11,849)	(11,748)	(△ 101)
現金及び 現金同等物	1,863	2,026	163	営業債務	1,643	1,544	△ 99
営業債権	3,522	3,194	△ 328	有利子負債	7,947	7,725	△ 222
棚卸資産	4,419	4,410	△ 9	その他	2,259	2,479	220
その他	1,139	1,195	56	資本	(8,833)	(9,296)	(△ 463)
非流動資産	(9,739)	(10,219)	(△ 480)	親会社の所有者に 帰属する持分	7,868	8,313	445
有形固定資産及び 使用権資産	6,009	6,254	245	非支配持分	965	983	18
のれん及び 無形資産	675	740	65				
非流動の その他の資産	3,055	3,225	170				
合 計	20,682	21,044	362	合 計	20,682	21,044	362

8) キャッシュ・フロー計算書

(単位：億円)

摘 要	22年度 4-9月決算	23年度 4-9月決算	増減
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー (A)	219	858	639
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー (B)	△ 140	△ 355	△ 215
フリーキャッシュ・フロー (A + B)	79	503	424
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー	55	△ 452	△ 507
IV. その他	137	112	△ 25
現預金等増減	271	163	△ 108

2. 2023年度業績予想の概要

22年度よりセグメントを変更しております。
新セグメントに基づく21年度以前の決算値は、22年度以降のセグメント比較を目的に作成した概算値です。

1 - 1) 業績予想の概要

(単位：億円)

摘 要	22年度決算		23年度予想		増減		23年度前回予想 (23.8.4発表)	
	4-9月	年度(a)	4-9月	年度(b)	年度 (b)-(a)	%	4-9月	年度
売上収益	9,511	18,795	8,237	17,570	△ 1,225	△7%	8,700	18,500
コア営業利益	776	1,139	420	1,120	△ 19	△2%	460	1,250
非経常項目	△ 51	151	△ 108	△ 150	△ 301	—	△ 100	△ 100
営業利益	725	1,290	312	970	△ 320	△25%	360	1,150
金融収益・費用	△ 18	△ 117	18	10	127	—	△ 10	△ 30
税引前利益	707	1,173	330	980	△ 193	△16%	350	1,120
親会社の所有者に帰属する 当期利益	444	829	207	760	△ 69	△8%	230	840
為替レート(円/US\$)	134	135	141	145	+ 10		139	139
国産ナフサ(円/KL)	83,750	76,600	65,550	70,300	△ 6,300		65,750	69,000
配 当	中間	期末	中間	期末	中間増減	期末増減	中間	期末
	60 円/株	60 円/株	70 円/株	70 円/株	+10円/株	+10円/株	70 円/株	70 円/株
	通期 120 円/株		通期 140 円/株		通期 +20円/株		通期 140 円/株	

1 - 2) 業績予想の概要 セグメント別 コア営業利益増減 (対前回予想)

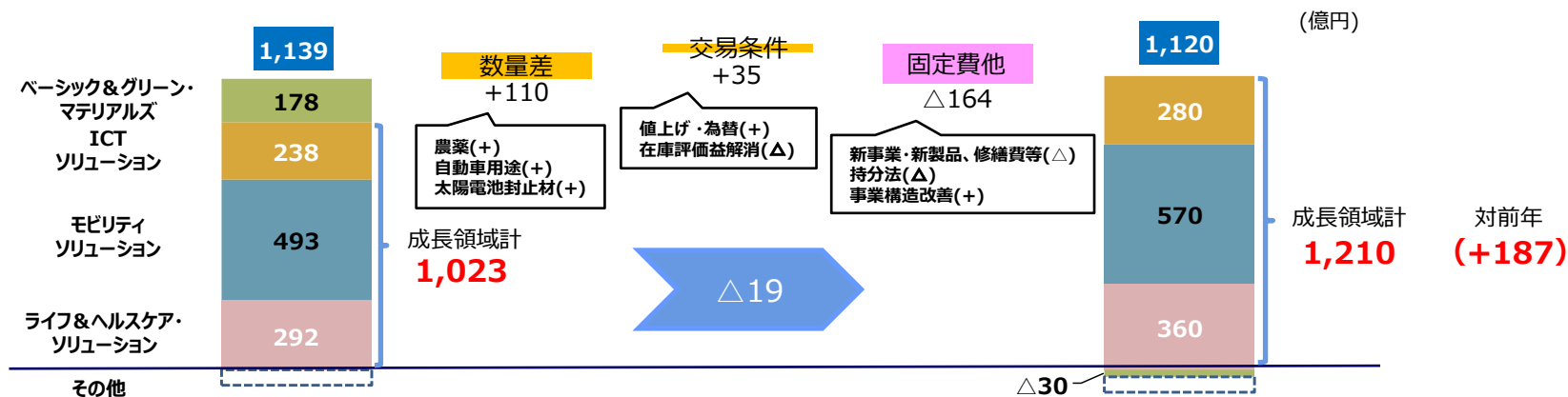
(単位：億円)

セグメント	23年度 コア営業利益			主要増減要因
	年度 前回予想 (23.8.4発表)	年度 今回予想	増減	
ライフ & ヘルスケア・ ソリューション	360	360	0	ビジョンケア数量(△)、 固定費(+)
モビリティ ソリューション	570	570	0	一部需要回復遅れに伴う数量(△)、 為替(+)
ICT ソリューション	280	280	0	半導体・スマホ関連需要回復遅れに伴う数量(△)、 為替(+)、固定費(+)
ベーシック & グリーン・ マテリアルズ	100	△ 30	△ 130	需要鈍化に伴う数量(△)、 在庫、低稼働等による交易条件(△)
その他	△ 60	△ 60	0	
合計	1,250	1,120	△ 130	
成長領域*	1,210	1,210	0	

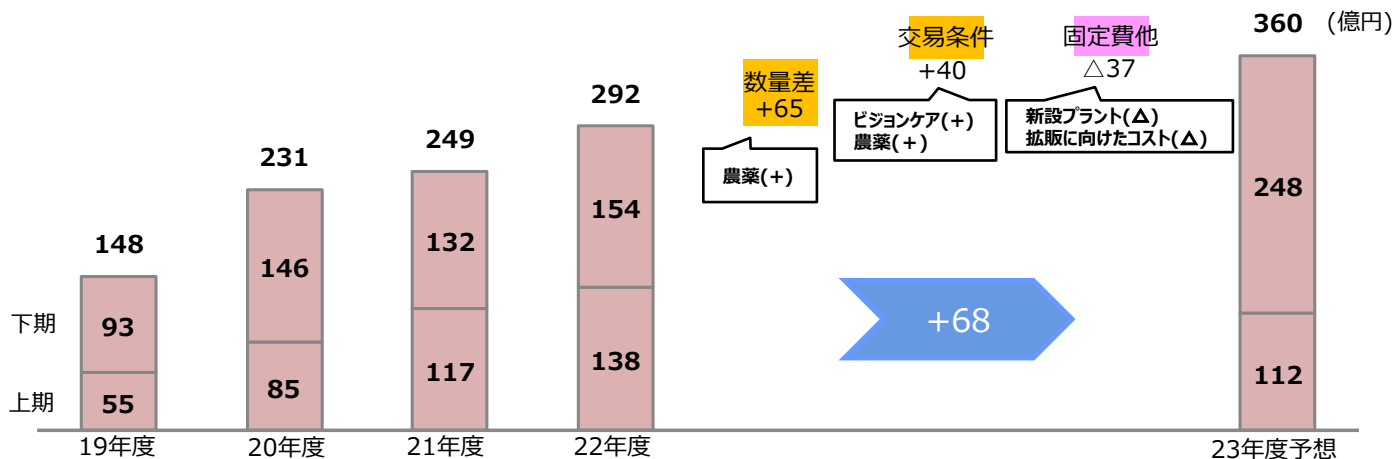
*ライフ&ヘルスケア、モビリティ、ICT

1-3) 業績予想の概要：コア営業利益（対前年決算）

項目	内容	損益増減
数量	・農薬は引続き販売堅調を見込む。	(+)
	・自動車用途回復、太陽電池封止材等は販売堅調を見込む。	(+)
	・半導体関連は半導体、スマートフォン市場の需要鈍化により販売数量は減少。	(△)
	・ポリオレフィン及びフェノール類を中心に需要減により販売数量は減少。	(△)
交易条件	・価格改定及び円安影響により交易条件改善。	(+)
	・22年度原料価格上昇に伴う在庫評価益の解消。	(△)
固定費他	・資材費高騰による修繕費及び新事業・新製品開発等の資源投入によるコスト増加。	(△)
	・持分法投資損益の減少。	(△)
	・事業構造改善による収益改善。	(+)

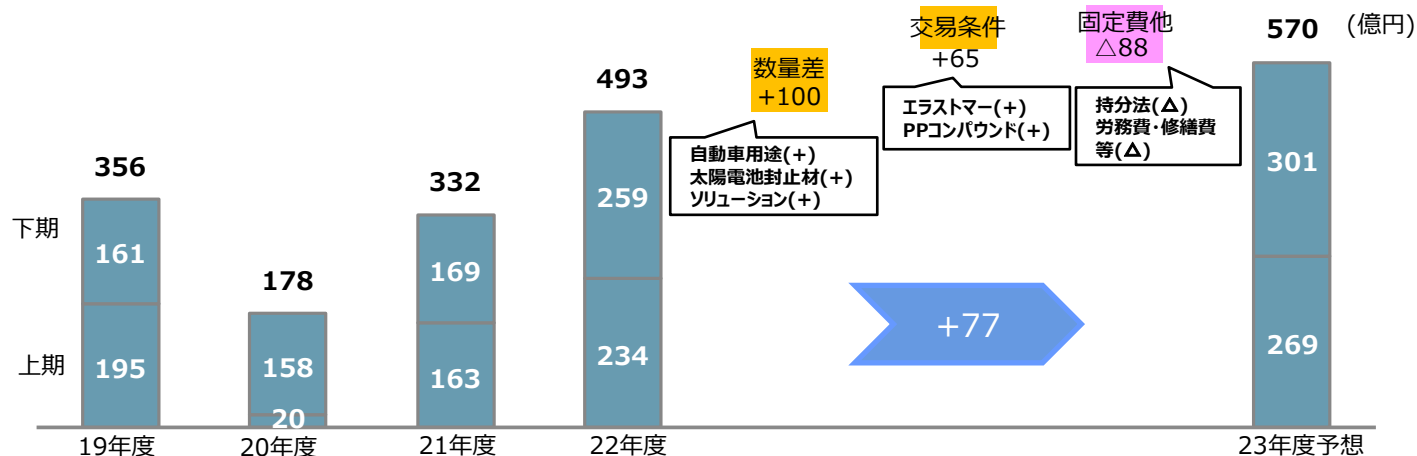


	23年度予想/事業動向	主要増減要因
ビジョンケア	<ul style="list-style-type: none"> ・販売は前年並みに推移 ・22年度値上げによる取引条件改善 ・新設プラント稼働による固定費増(MR™) 	取引条件(+) 固定費(Δ)
不織布	<ul style="list-style-type: none"> ・事業統合により販売増 	数量(+)
オーラルケア	<ul style="list-style-type: none"> ・販売は堅調に推移 ・拡販に向けた人員増加による労務費増 	数量(+) 固定費(Δ)
農薬	<ul style="list-style-type: none"> ・販売は堅調に推移 ・為替差による取引条件改善 ・拡販に伴う登録維持費、試験費等の研究費増加 	数量(+) 取引条件(+) 固定費(Δ)



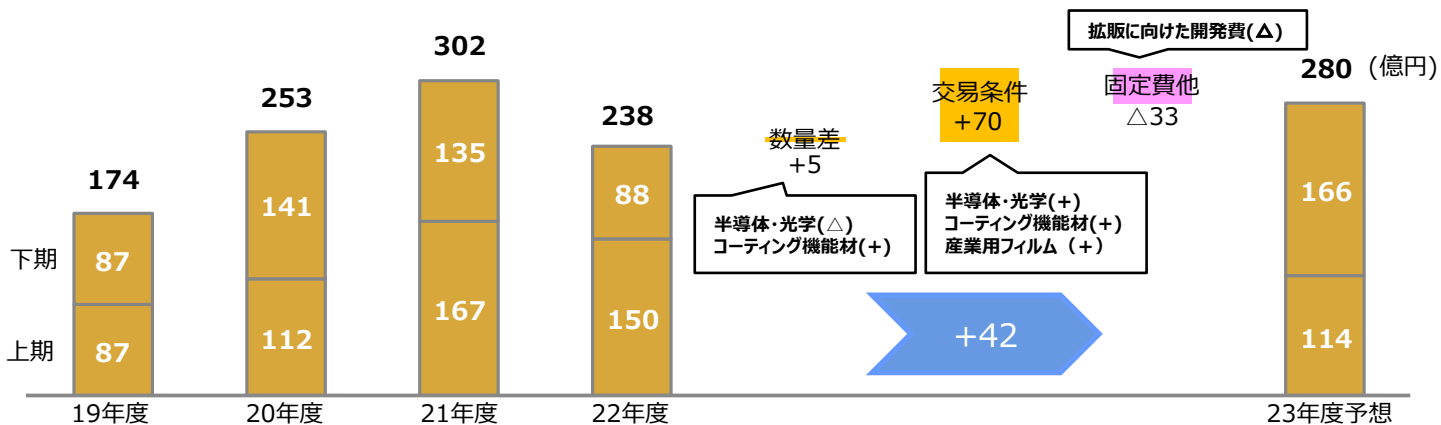
2-2) モビリティ・ソリューション:コア営業利益増減/事業動向 (対前年決算)

	23年度予想/事業動向	主要増減要因
エラストマー	<ul style="list-style-type: none"> 自動車用途回復、太陽電池封止材等の需要堅調に伴う販売増 価格改定及び為替差、高付加価値品へのシフトによる交易条件改善 修繕費等の固定費増加 	数量(+) 交易条件(+) 持分法(Δ) 固定費(Δ)
複合材料 (PPコンパウンド 機能性コンパウンド)	<ul style="list-style-type: none"> 自動車用途回復に伴う販売増 価格改定及び為替差により交易条件改善 拡販に向けた人員増加による労務費増 	数量(+) 交易条件(+) 固定費(Δ)
ソリューション事業	<ul style="list-style-type: none"> 自動車市場回復に伴う受注増 拡販に向けた人員増加による労務費増 	数量(+) 固定費(Δ)



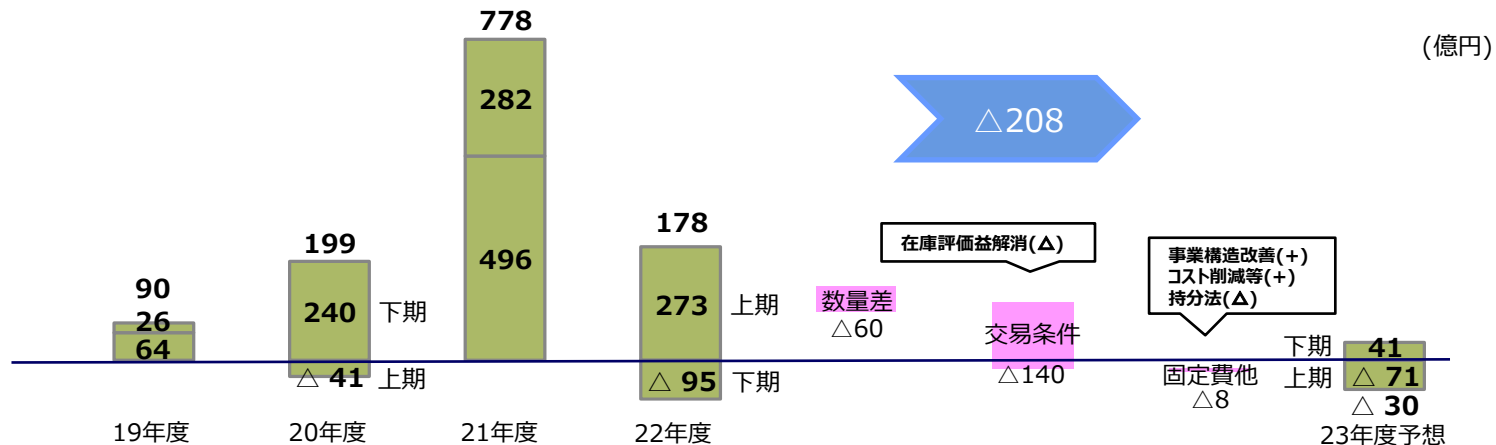
2-3) ICTソリューション: コア営業利益増減/事業動向 (対前年決算)

	23年度予想/事業動向	主要増減要因
半導体・光学	<ul style="list-style-type: none"> ・EUVペリクルの販売は堅調に推移、ペリクル事業買収による増販 ・半導体及びスマートフォン市場需要鈍化により販売は減少 ・為替差による交易条件改善 ・拡販に向けた開発費等の増加 	数量(Δ) 交易条件(+) 固定費(Δ)
コーティング機能材	<ul style="list-style-type: none"> ・高付加価値製品の拡販 ・原料価格下落に伴う交易条件改善 ・拡販に向けた開発費等の増加 	数量(+) 交易条件(+) 固定費(Δ)
産業用フィルム	<ul style="list-style-type: none"> ・為替差による交易条件改善 	交易条件(+) 固定費(Δ)



2-4) ベーシック&グリーン・マテリアルズ: コア営業利益増減/事業動向 (対前年決算)

	23年度予想/事業動向	主要増減要因
石化	<ul style="list-style-type: none"> 需要減により販売は減少 値上げによる交易条件改善 22年度原料価格上昇に伴う在庫評価益の解消 	数量(Δ) 交易条件(+) 在庫(Δ)
基礎化	<ul style="list-style-type: none"> 需要減により販売は減少 持分法投資損益の減少 事業構造改善による収益改善 	数量(Δ) 交易条件(Δ) 在庫(Δ) 持分法(Δ) 構造改善(+)
ウレタン	<ul style="list-style-type: none"> 持分法投資損益の減少 	持分法(Δ)



3) セグメント別 コア営業利益増減 (上期→下期)

(単位：億円)

セグメント	23年度 コア営業利益			主要増減要因
	上期	下期予想	増減	
ライフ & ヘルスケア・ソリューション	112	248	136	ビジョンケア、不織布、農薬数量(+)、為替(+)、固定費(△)
モビリティソリューション	269	301	32	数量(+)、為替(+)、交易条件(△)、固定費(△)
ICTソリューション	114	166	52	半導体関連数量(+)、為替(+)、固定費(△)
ベーシック&グリーン・マテリアルズ	△ 71	41	112	在庫(+)、稼働率改善による交易条件(+)
その他	△ 4	△ 56	△ 52	
合計	420	700	280	
成長領域*	495	715	220	

*ライフ&ヘルスケア、モビリティ、ICT

4) キャッシュ・フロー計算書の予想

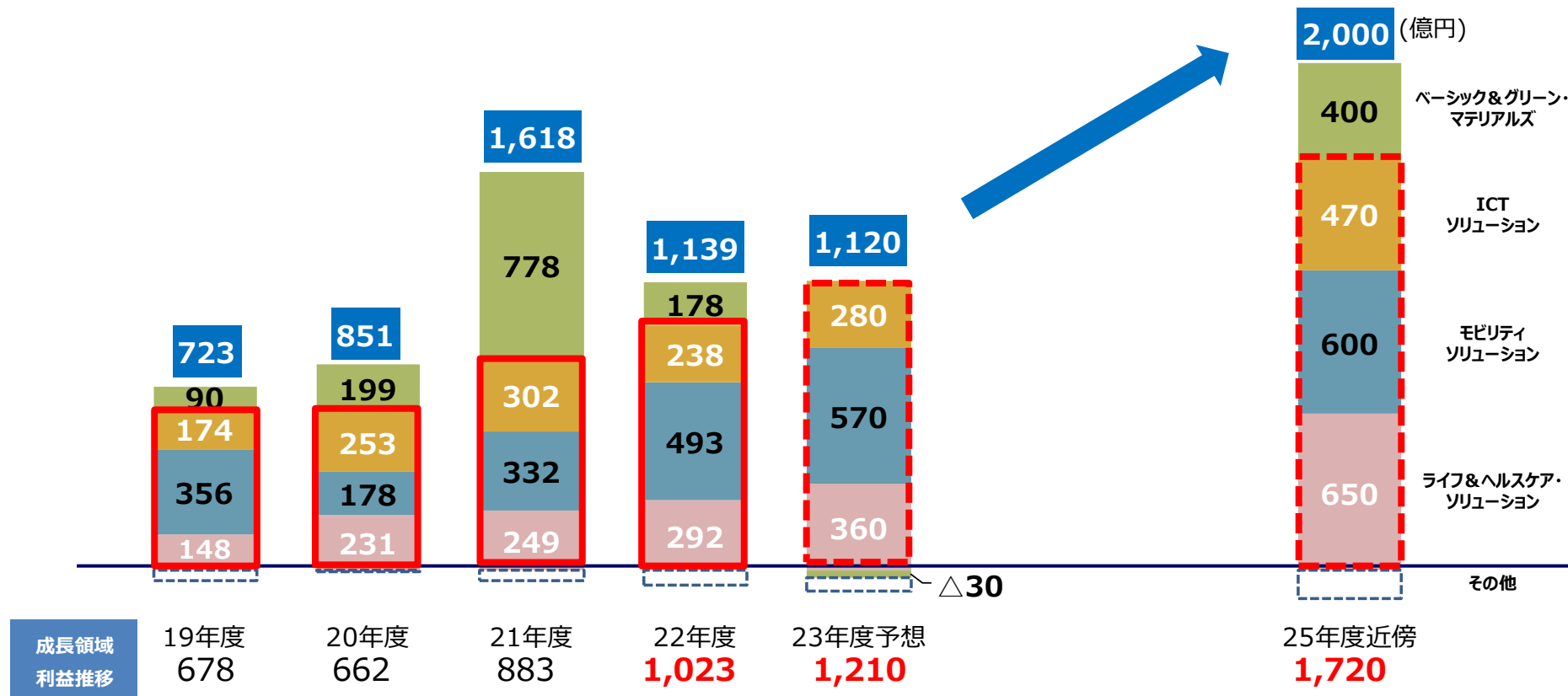
(単位：億円)

摘 要	22年度決算	23年度予想	増減 (b)-(a)	23年度 前回予想 (23.8.4発表)
	年度(a)	年度(b)		
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー (A)	1,012	1,300	288	1,410
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー (B)	△ 1,063	△ 1,190	△ 127	△ 1,360
フリーキャッシュ・フロー (A + B)	△ 51	110	161	50
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー	25	△ 210	△ 235	△ 80
IV. その他	77	110	33	80
現預金等増減	51	10	△ 41	50

3. 補助資料

- 1) セグメント別コア営業利益推移
- 2) 製品価格の状況
- 3) 売上収益の増減概要
- 4) セグメント別 売上収益/コア営業利益の内訳（四半期別）
- 5) セグメント別 コア営業利益増減（1Q→2Q増減）
- 6) セグメント情報
- 7) データハイライト

1) セグメント別コア営業利益推移



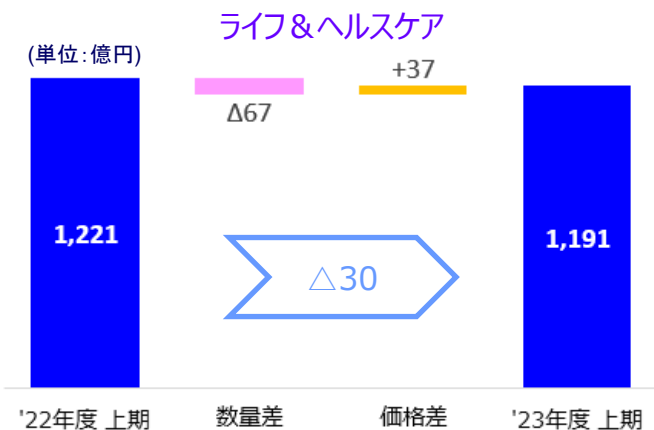
2) 製品価格の状況

(PE国内、PP国内、PH国内、BPA国内：国内価格改定幅)

年		2020年	2021年				2022年				2023年		
月		10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月
国産標準 力価価格	(円/KL)	31,300	38,800	47,700	53,500	60,700	64,600	86,100	81,400	72,500	66,500	67,500	63,600
PE国内	(円/KG)	→	+20円 程度	→	+10円 程度	+30円 程度	+30円 程度	+15円 程度	△10円 程度	△15円 程度	△10円 程度	+8円 程度	△6円 程度
PP国内	(円/KG)	→	+20円 程度	→	+10円 程度	+30円 程度	+30円 程度	+15円 程度	△10円 程度	△15円 程度	△10円 程度	+8円 程度	△6円 程度
PH国内 (フォーマル価格)	(円/KG)	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
BZ (*ACP)	(\$/T)	\$490	\$720	\$930	\$1,030	\$970	\$1,030	\$1,230	\$1,120	\$880	\$930	\$940	\$870
BPA国内	(円/KG)	→	→	+60円 (4月~)	+35円 (9月~)	→	+20円 (3月~)	+32円(4月~) +38円(6月~)	→	△14円 (12月~)	△17円 (3月~)	+16円 (6月~)	→
BZ/BPA市況をベースに都度交渉													
BPA 中国市況	(\$/T)	\$1,990	\$2,630	\$3,230	\$3,320	\$2,480	\$2,340	\$2,060	\$1,580	\$1,450	\$1,300	\$1,250	\$1,260
PTA 中国市況	(\$/T)	\$450	\$600	\$660	\$710	\$700	\$830	\$950	\$840	\$760	\$780	\$800	\$790
PX (*ACP)	(\$/T)	\$560	\$770	\$860	\$920	\$890	\$1,090	\$1,260	\$1,090	\$980	\$1,030	\$1,030	\$1,070
TDI 中国市況	(\$/T)	\$2,330	\$2,150	\$2,040	\$1,900	\$2,200	\$2,610	\$2,770	\$2,320	\$2,410	\$2,430	\$2,190	\$2,060

* ACP アジア圏契約価格

3-1) 売上収益の増減概要

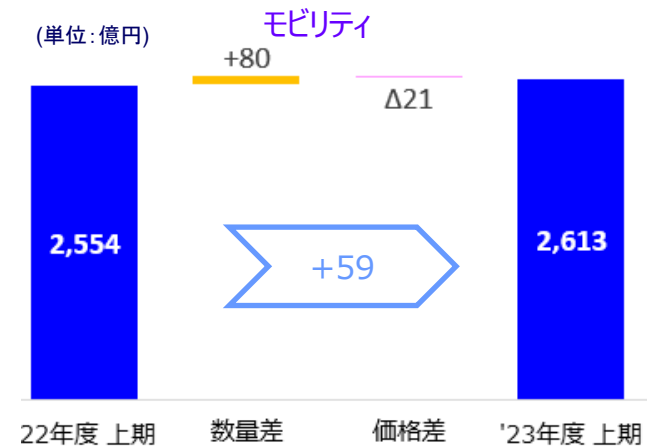


◆数量差 △67億円

・ビジョンケア材料及び不織布の販売は減少。

◆価格差 +37億円

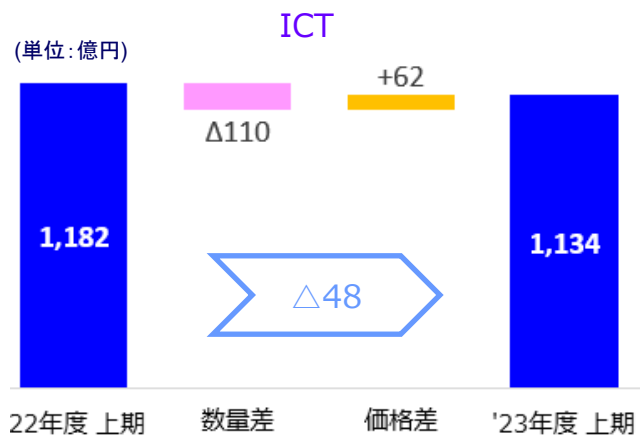
・為替差等。



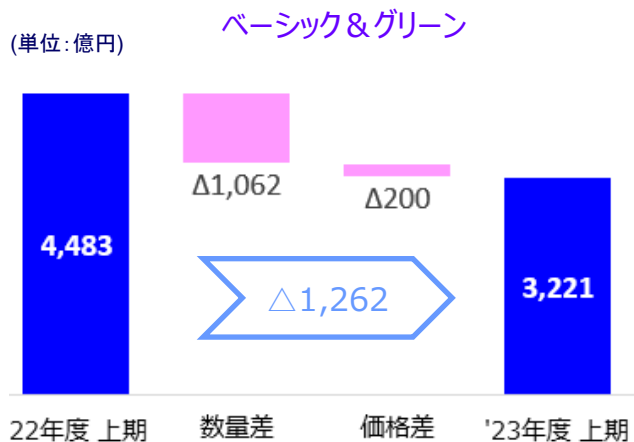
◆数量差 +80億円

・自動車用途、太陽電池封止材の販売は堅調。

◆価格差 △21億円



- ◆数量差 △110億円
・半導体及びスマートフォン関連の販売は減少。
- ◆価格差 +62億円
・為替差等。



- ◆数量差 △1,062億円
・ポリオレフィン及びフェノール類の販売は減少。
- ◆価格差 △200億円
・原料価格下落による価格改定。

4) セグメント別 売上収益/コア営業利益の内訳 (四半期別)

(単位：億円)

セグメント	売上収益						
	22年度				23年度		
	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	4-6月	7-9月	下期予想
ライフ&ヘルスケア・ソリューション	587	634	647	714	571	620	1,839
モビリティソリューション	1,206	1,348	1,354	1,308	1,274	1,339	2,857
ICTソリューション	592	590	614	561	569	565	1,376
ベーシック&グリーン・マテリアルズ	2,343	2,140	2,122	1,885	1,627	1,594	3,169
その他	33	38	41	38	38	40	92
合計	4,761	4,750	4,778	4,506	4,079	4,158	9,333

(単位：億円)



セグメント	コア営業利益						
	22年度				23年度		
	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	4-6月	7-9月	下期予想
ライフ&ヘルスケア・ソリューション	62	76	78	76	45	67	248
モビリティソリューション	95	139	155	104	123	146	301
ICTソリューション	92	58	80	8	52	62	166
ベーシック&グリーン・マテリアルズ	208	65	25	△ 120	△ 4	△ 67	41
その他	△ 11	△ 8	△ 11	△ 32	△ 7	3	△ 56
合計	446	330	327	36	209	211	700

5) セグメント別 コア営業利益増減 (1Q→2Q)

(単位：億円)

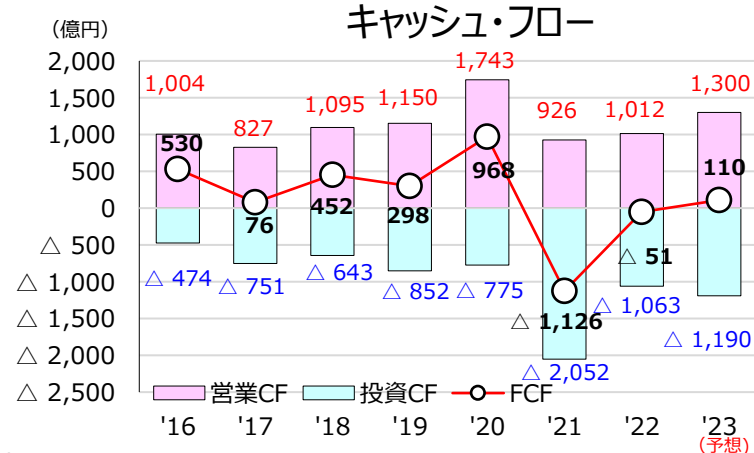
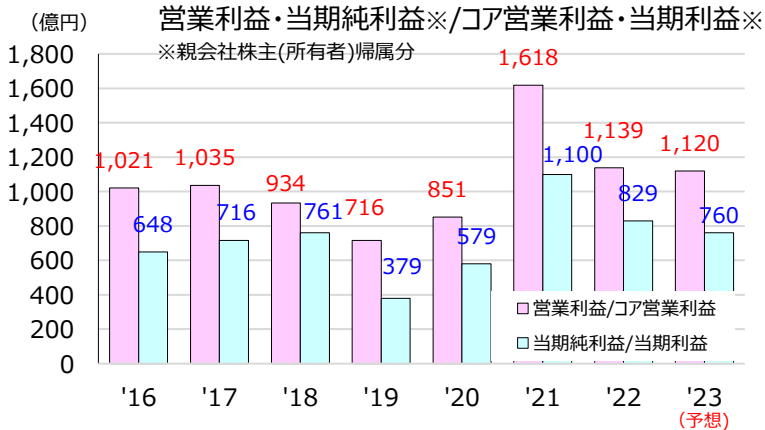
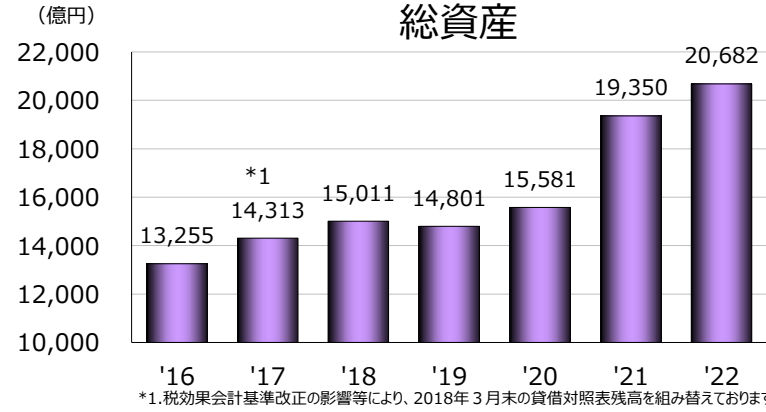
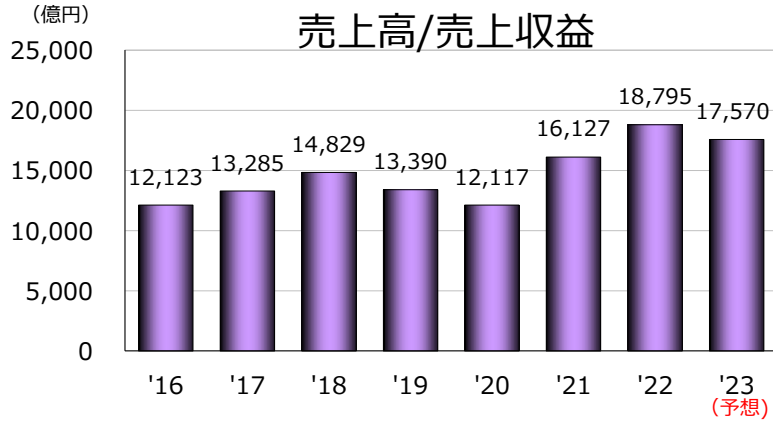
セグメント	23年度 コア営業利益			主要増減要因
	1Q	2Q	増減	
ライフ & ヘルスケア・ソリューション	45	67	22	ビジョンケア、農薬数量(+)
モビリティソリューション	123	146	23	数量(+)
ICTソリューション	52	62	10	交易条件(+)
ベーシック & グリーン・マテリアルズ	△ 4	△ 67	△ 63	在庫(△)、固定費(△)
その他	△ 7	3	10	
合計	209	211	2	
成長領域*	220	275	55	

*ライフ & ヘルスケア、モビリティ、ICT

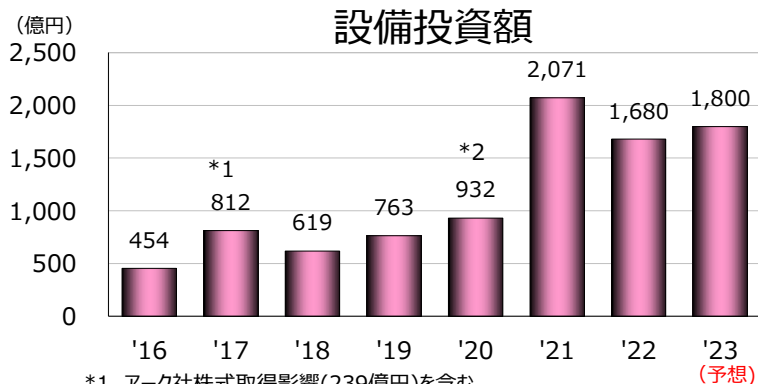
セグメント	事業分野	主な製品等
ライフ & ヘルスケア・ソリューション	ビジョンケア、パーソナルケア、不織布、オーラルケア、農薬、医療事業推進室	プラスチックメガネレンズ材料（MR™、Do Green™）、 医療材料（タウリン）、 不織布（シンテックス®、エアリア®、テクノロート®）、 オーラルケア材料（充填材料、接着材料、デジタル機器）、 農薬（ジノテフラン、テネベナール®）
モビリティソリューション	エラストマー重合、複合材料、ソリューション事業、モビリティソリューション事業推進室	タフマー®、三井EPT™、ルーカント®、 PPコンパウンド、機能性コンパウンド（アドマー®、ミラストマー®、アーレン®）  
ICTソリューション	半導体・光学、コーティング機能材、機能性フィルム・シート、ICT材料事業推進室	三井ペリクル™（DUV、EUV、FPD）、アベル®、TPX®、半導体用ガス、 高機能食品包装材料（シーラント、接着剤、コート剤、環境対応包材）、 産業用フィルム（イクロステープ™、SP-PET™）、包装用フィルム（T.U.X®）
ベーシック & グリーン・マテリアルズ	フェノール、PTA・PET、インダストリアルケミカルズ、サステナブル・フィードストック、ポリオレフィン、ライセンス、ポリウレタン材料 グリーンケミカル事業	フェノール、ビスフェノールA、アセトン、PTA、PET、 EO、ハイドロキノン、アンモニア、排ガス低減剤（アドブルー®*）、 ポリオレフィン、TDI、MDI *アドブルーはドイツ自動車工業会の登録商標です。

7-1) データハイライト

注) ~19年度：日本基準 / 20年度～：IFRS

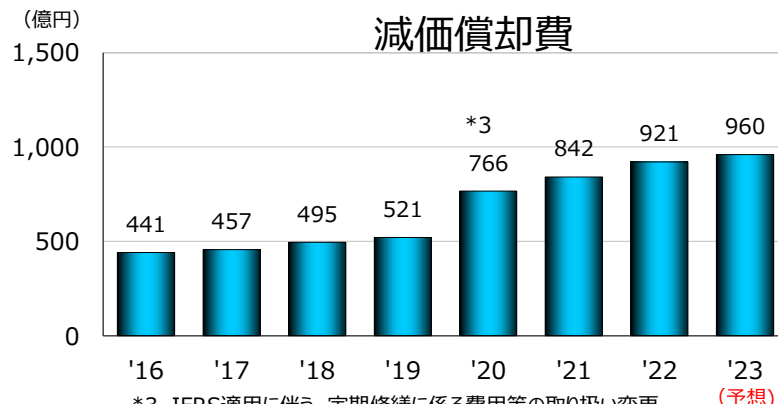


注) ~19年度：日本基準 / 20年度～：IFRS

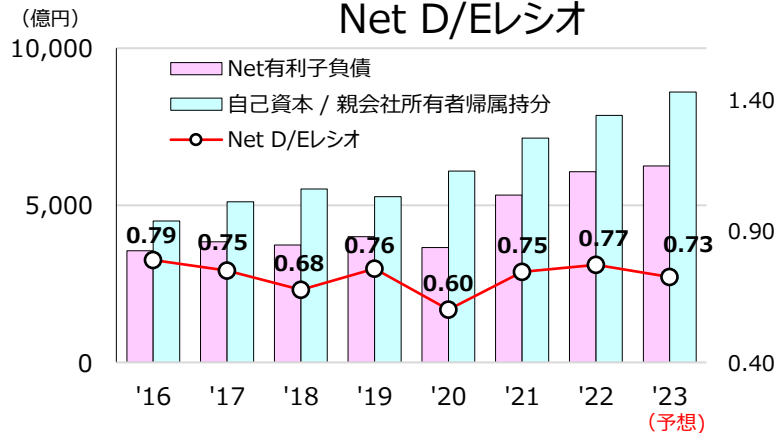
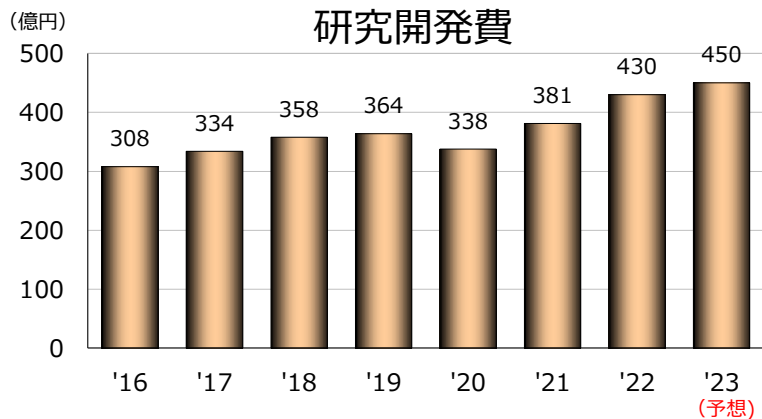


*1. アーク社株式取得影響(239億円)を含む

*2. IFRS適用に伴う、定期修繕に係る費用等の取り扱い変更影響(設備投資額増加)を含む



*3. IFRS適用に伴う、定期修繕に係る費用等の取り扱い変更影響(減価償却費増加)を含む



未来が変わる。化学が変える。

Chemistry for Sustainable World



三井化学

Challenge Diversity One Team